

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公表番号】特表2010-538298(P2010-538298A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-524002(P2010-524002)

【国際特許分類】

G 01 N 21/64 (2006.01)

G 01 N 33/542 (2006.01)

C 09 K 11/06 (2006.01)

【F I】

G 01 N 21/64 Z

G 01 N 33/542 A

C 09 K 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月16日(2011.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

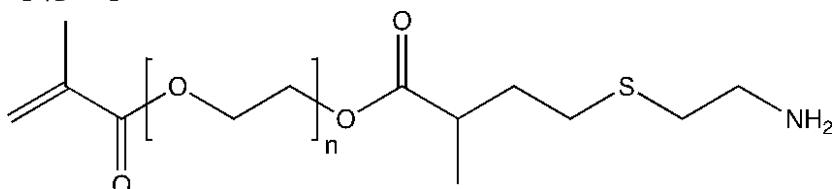
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

試料中の生体分子の近接性を可視化するための方法であって、
前記試料を、FRET粒子ペアで処理する工程であって、
これにおいて、前記FRET粒子ペアは、各々が、式I：

【化1】



式I

[式中、nは、10～200である]

のモノマーを含んでなる、30～50重量パーセントの架橋ポリマを包含する、2つ以上の蛍光粒子を包含し、

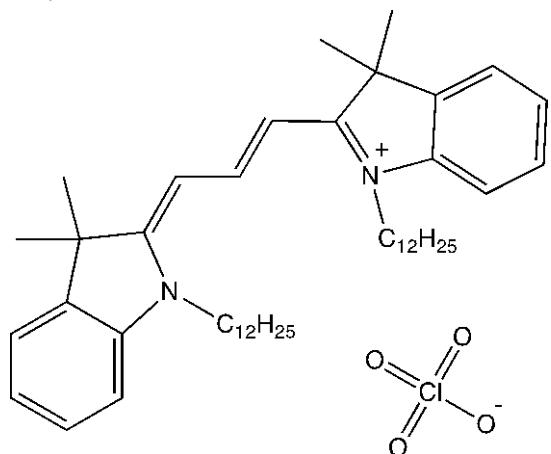
前記蛍光粒子の少なくとも一方は、エネルギードナー色素を包含し、かつ、前記蛍光粒子の少なくとも1つの別の蛍光粒子がエネルギーアクセプタ色素を包含し、

各蛍光粒子は、外表面に共有結合された1つ以上の標的化成分を包含している工程と、
前記試料を、光源に暴露し、放出される光を、検出器を用いてレコードする工程と、
を含んでなる方法。

【請求項2】

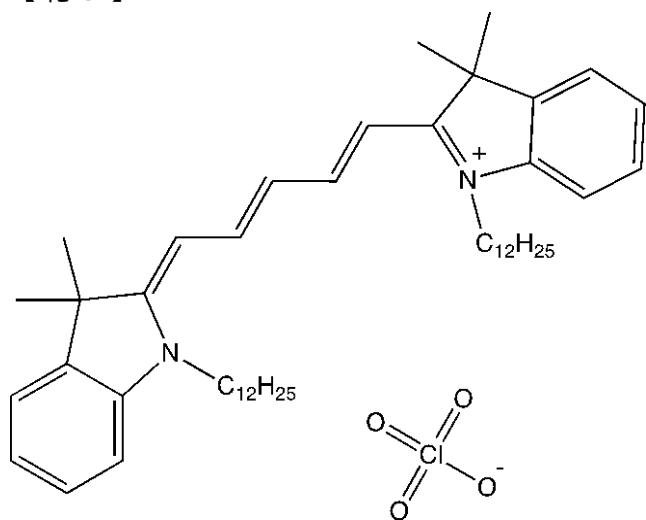
前記粒子が、

【化 2】



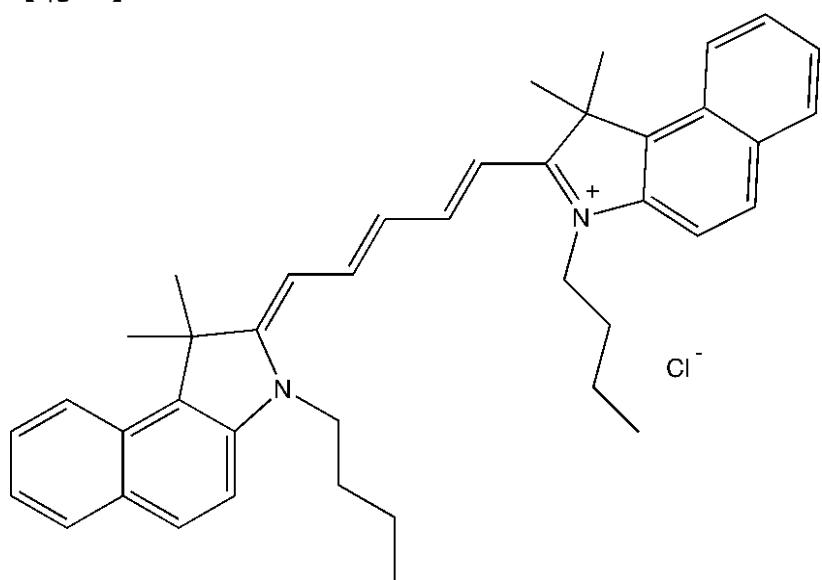
色素 1

【化 3】



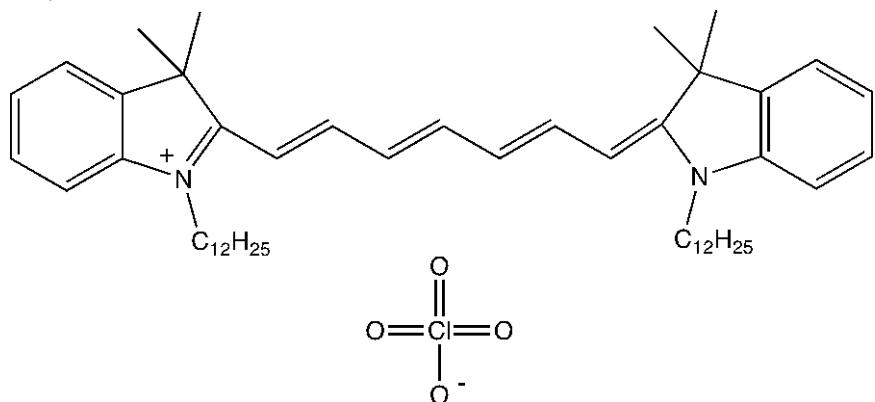
色素 2

【化 4】



色素 3

【化5】



色素4

からなる群より選択される少なくとも1つの色素を包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記F R E T粒子ペアが、約550 nmと650 nm、650 nmと690 nm、690 nmと760 nm、又は650 nmと760 nmの最大吸収を包含する、請求項1に記載の方法。